

プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版

坂井建雄 監訳

市村浩一郎, 澤井 直 訳

＜書評者＞ 依藤 宏 (群馬大学大学院教授・機能形態学)

解剖実習は医学生が専門課程に進学して最初に突き当たる一大関門である。集中力を要求される剖出作業、剖出した多数の構造に付けられた見慣れない名称の暗記。そこには、電車の中でよく見かける、高校生が教科書の単語をマーカーで塗り、その上に反対色の透明シートをかけて単語を隠し覚えろといった方法ではこなしきれない質的に異なる勉強法が要求される。すなわち解剖学では、というより専門課程の科目では、すべて必要事項の重要度のランク付けを行い、その重要度の高いものを押さえたうえで、徐々に重要度の落ちるものへと手を広げていくという勉強法が必要なのである。

今回、解剖実習で医学生が押さえておくべき解剖図を集めた図譜が出版された。それがこの『プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版』である。この本の図はコンピュータグラフィクスによる美しい図譜として多くの医療関係者にインパクトを与えた『プロメテ

ウス解剖学アトラス』のシリーズの1冊『コアアトラス』から選んだものである。学生の勉学用にカード式として出版された原書を、監訳者が長年の教育者としての見識を元に、本来のカードにはなかった工夫を随所に盛り込んで書物の形としている。

この本の特長を挙げてみると、①単行本になったことで、カードのようにバラバラになることもなく、部位別の各図に容易に到達できる。このことは学生が実習と並行して復習あるいは試験勉強する際に役に立つ。②見開きで左に図、右に解答の和名および英名が併記されている。カードのように解答を確認するのに毎回裏返す必要がなく、また英名も併記されていることで積極的に医学用語を英語で覚えていこうとする学生にとって、図、和名、英名の対比、対照が容易に行える。③図・解答の下に関連問題とその解答や解説、臨床関連事項が記載されていて、単なる図と用語の対比に終わる図譜

ではない。④英文・和文の索引が付いている。この索引が付いたことで、この本が単に暗記用に終わることなく、辞書、参考書として活用することが可能となっている。⑤『プロメテウス解剖学コアアトラス』の対比頁・図番号が各頁に付されている。これにより、さらに詳しい周辺構造を確認したい場合や詳しい説明が欲しいときに容易にその情報にたどりつける。すなわち、いちいち別の本の目次や索引に当たって調べるという手間をかける必要がない。

このようにこのアトラスは学生にとってまさに至れり尽くせりで、評者も学生のころにこのような本があればと思わずにはいられないような本である。値段がもう少し低価格であれば一層多くの医学生に活用されるのではないかと、この点が少し残念だが、このような良質の本が加わったことは医学生にとっての朗報である。学生諸君はぜひこの本を大いに活用し、解剖の関門を突破する一助としていただきたい。

●B6 頁 816 2011 年
定価 4,725 円
(本体 4,500 円+税 5%)
[ISBN978-4-260-01126-6]
医学書院 刊